仕　様　書

1　委託業務名称

福島区ぼうさいノート企画編集及び印刷業務委託

2　履行期限

令和 9 年 2 月 19 日（金）

3　業務内容

「福島区ぼうさいノート」の企画編集（デザイン･レイアウト･タイトル・イラストカットの作成)、校正、カラーカンプの作成、校了、印刷までの一切。

※契約後速やかに編集から校了、納品にかかるスケジュールを当区に提案し協議すること。

※突発的な事由等による記事、イラスト等の修正、差し替えにも迅速に対応すること。

（1）デザイン・レイアウト・タイトル・イラストカットの作成

（2）印刷・納品

（3）完成データ・保存用データの作成

4　企画編集等

（1）資料提供

契約後、指示したものを引き渡す。

（2）編集

① 福島区ぼうさいノートの書体、級数、組み方は当区の指示によること。指示によらない場合は、双方協議のうえ、よりよいデザインとすること。

② 当区からの原稿等、作成イメージに基づきデザイン、レイアウトの原案を提示し、当区の審査を受けた上で編集を行う。

（3）校正

① 原稿はデータまたは紙出力とし、紙出力については、その都度各 2 部を当区へ届けること。校正は 3 回までとする。

② 作成された原稿に対して直接修正指示を行う。

③ また当区の都合により、校正の途中で見出し及び記事の変更、組み換え、イラストの差し替えをすることがある。

④ 校正は責了とせず、校了日まで行う。

⑤ 校了後、カラーカンプを当区へ 3 部提出のこと（簡易校正可)。

5　印刷

（1）印刷部数

8,000 部

（2）印刷・用紙等

① サイズ　Ａ２版（折り畳み時：Ａ５判）

② 紙質：上質紙（70ｋｇ）

③ おもて紙・うら紙：フルカラー
※オフセット印刷を行うこと。

6　納品

（1）期日までに納品物を作成し、福島区役所　市民協働課（市民協働）へ納品すること。
【記憶媒体（CD-R または DVD-R）に保存して納品するもの】
① 最終校正を反映した完成データ（アウトライン済み・アウトライン前の AI ファイル・PDF データ・PDF データ（容量 2MB 以内））
② 記録媒体は、必ず最新のパターンファイルに更新されたウイルスチェックソフトを使ってウイルスチェックを行い、本市の環境にコンピュータウイルスを侵入させないための処置を講じること。
③ 納品の際は、梱包し、汚れ、損傷をきたさないようにすること。また、納入時に雨天が予想されるときは、冊子に雨がかからないよう養生すること。
④ マップに関する梱包は、ロールでの梱包ではなく、フラットにて行うこと。
（100 部単位で向きをそろえ 200～300 部ごとに梱包）
（2）納品の際は大阪市グリーン配送実施要綱に定めるグリーン配送適合車を使用すること。

7　契約金額

（1）価格
契約価格は、紙面の編集、レイアウト、カラーカンプ作成に関する経費及び、写真植字、版下作成など印刷に関する一切の経費、PDF データ化に関する経費と納品に関する経費等、一切を含めた価格とする。
（2）支払い
受注者からの請求に基づき、履行確認後に支払う。

8　再委託について

（1）本委託業務における「主たる部分」とは次に掲げるものをいい、受注者はこれを再委託することはできない。
・委託業務における総合的企画、業務遂行管理、業務の手法の決定及び技術的判断等
（2）受注者は、コピー、ワープロ、印刷、製本、トレース、資料整理などの簡易な業務の再委託にあたっては、発注者の承諾を必要としない。
（3）受注者は、第１項及び第２項に規定する業務以外の再委託にあたっては、書面により発注者の承諾を得なければならない。
（4）地方自治法施行令第 167 条の２第１項第２号の規定に基づき、契約の性質又は目的が競争入札に適さないとして、随意契約により契約を締結した委託業務においては、発注者は、前項に規定する承諾の申請があったときは、原則として業務委託料の３分の１以内で申請がなされた場合に限り、承諾を行うものとする。ただし、業務の性質上、これを超えることがやむを得ないと発注者が認めたとき、又は、コンペ方式若しくはプロポーザル方式で受注者を選定したときは、この限りではない。
（5）受注者は、業務を再委託に付する場合、書面により再委託の相手方との契約関係を明確にしておくとともに、再委託の相手方に対して適切な指導、管理の下に業務を実施しなければならない。
なお、再委託の相手方は、大阪市競争入札参加停止措置要綱に基づく停止措置期間中の者、又は大阪市契約関係暴力団排除措置要綱に基づく入札等除外措置を受けている者であってはならない。

９　その他

（１）上記仕様を変更する場合は、その都度、双方協議のうえ決定する。
突発的な事由等による記事や写真、イラスト等の修正、差し替えが発生した場合は、すみやかに双方協議し決定する。

（２）本業務を通じて知りえた情報を第三者に漏らしてはならない。

（３）当区が提供した原稿、写真、イラスト等は使用後すみやかに返却すること。

（４）当区とのやりとりは、日本語で行うこと。

（５）仕様書に関する質問は、文書により行うこと。

（６）契約書や仕様書に定めのない事項については、その都度、双方協議のうえ定める。

（７）契約締結後に本仕様書に疑義が生じた場合は、当区の解釈に従うこと。

１０　事業担当

大阪市福島区役所　市民協働課（市民協働）
大阪市福島区大開１丁目８番１号
電話：０６－６４６４－９９１１
担当：平野

グリーン配送に係る特記仕様書

1　本契約に基づき物品等を大阪市に納入する際には、車種規制非適合車以外の自動車である、大阪市グリーン配送適合車（以下「グリーン配送適合車」という。）を使用しなければならない。

注　「車種規制非適合車」とは「自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法（自動車 NOx・PM 法）」に定める窒素酸化物排出基準又は粒子状物質排出基準に適合しない自動車である。

なお、物品配送業務を他人に委託するときは、受託人の使用する自動車についてグリーン配送適合車の使用を求めること。

2　本契約締結後速やかに、本市が別途定める様式により、物品配送業務に使用する自動車がグリーン配送適合車である旨の届出を環境局環境管理部環境規制課あて行うこと。
ただし、既に本市に届出済みの自動車を使用する場合又は次の各号に定める自動車を使用する場合はこの限りではない。

(1)　大阪府グリーン配送実施要綱に基づく大阪府グリーン配送適合車

(2)　神戸市グリーン配送ガイドラインに基づく神戸市グリーン配送適合車

3　本市に届出済みのグリーン配送適合車に、グリーン配送適合ステッカーを貼付すること。

4　物品等を納入した際に、本市職員が確認のため「グリーン配送適合車届出済証」等の提示を求めた場合には、協力すること。

大阪市グリーン配送に関する問合せ

大阪市環境局環境管理部環境規制課
　自動車排ガス対策グループ
電　話：０６－６６１５－７９６５

契約事務の適正化に関する特記仕様書

発注者と本契約を締結した受注者は、この契約の履行に関して、発注者の職員から違法又は不適正な要求を受けたときは、その内容を記録し、直ちに発注者の企画総務課（連絡先０６－６４６４－９６２５）に報告しなければならない。

生成 AI 利用に関する特記仕様書

受注者又は指定管理者（再委託及び再々委託等の相手方並びに下請負人を含む）が生成 AI を利用する場合は、事前に発注者あて所定様式により確認依頼をし、確認を受けるとともに、「大阪市生成 AI 利用ガイドライン（別冊 業務受託事業者等向け生成 AI 利用ガイドライン第 1.1 版）」に定められた以下の利用規定を遵守すること。

生成 AI の利用規定

- 生成 AI を利用する場合は、利用業務の内容、利用者の範囲、情報セキュリティ体制等及び利用規定の遵守・誓約内容を事前に所定様式※により発注者宛に確認依頼をし、確認を受けること。
  ※ 所定様式は大阪市ホームページからダウンロードできます
  https://www.city.osaka.lg.jp/ictsenryakushitsu/page/0000623850.html
- 前記確認内容に変更等が生じた際には変更の確認依頼をし、確認を受けること。
- 生成 AI は、受注者又は指定管理者の業務支援目的に限定し、市民や事業者向けの直接的なサービスには利用しないこと。
- 画像及び動画の生成 AI サービスを利用する場合は、利用者が生成物を利用する際に他者の著作権を侵害しないよう選別したコンテンツで AI モデルの学習をしているサービスを利用することを原則とする。ただし、当該要件に該当しないサービス又は該当するか不明のサービスを利用する場合は、生成内容が既存著作物との類似性や無許諾での依拠がないことを確認し、かつ、成果物として利用する際は発注者の同意を得ること。
- インターネット上の公開された環境で不特定多数の利用者に提供される定型約款・規約への同意のみで利用可能な生成 AI の利用を禁止する。
- 生成 AI 機能が付加された検索エンジンやサイトは、一般的にインターネットで公開されている最新の情報を検索する目的でのみの利用とし、生成 AI による回答を得る目的での利用を禁止する。
- 生成 AI を利用する場合は、入力情報を学習しない設定（オプトアウト）をして利用すること。
- 契約又は協定の履行に関して知り得た秘密及び個人情報の入力を禁止する。
- 著作権その他日本国の法令に基づき保護される第三者の権利を侵害する内容の生成につながる入力及びそのおそれがある入力を禁止する。
- 生成・出力内容は、誤り、偏りや差別的表現等がないか、正確性や根拠・事実関係を必ず自ら確認すること。
- 生成・出力内容は、著作権その他日本国の法令に基づき保護される第三者の権利の侵害がないか必ず自ら確認すること。
- 生成・出力された文章は、あくまで検討素材であり、その利用においては、受注者又は指定管理者が責任をもって判断するものであることを踏まえ、加筆・修正のうえで使用すること。
- 生成・出力内容は、上記に定める正確性の確認等を経たうえで、加筆・修正を加えずに利用（公表等）する場合は、生成 AI を利用して作成した旨を明らかにして意思決定のうえで利用すること。
- 情報セキュリティ管理体制により、利用者の範囲及び利用ログの管理などにより情報セキュリティの確保を徹底して適切に運用すること。